

一般社団法人ビリーバーズ 第10回理事会議事録

1. 開催日時 令和7年3月24日(月) 午後3時00分～午後3時57分

2. 開催場所 当法人事務所

3. 出席状況 理事総数3人 監事1人 有効出席者数3人

4. 議長選任の経過 上記のとおり定足数に足る出席があったので、定款の規定により代表理事の熊野英一が議長になり、直ちに議案の審議に入った。

5. 議事

第1号議案 今期の事業計画、及び予算の振り返りについての審議

預金が少し減っているが、板橋の開室が週5日に変更予定。

ビリーバーズ広尾の売上は、2月まで予算どおりに推移している。ビリーバーズ板橋の売上は毎月上振れしているもので、順調に伸びていえるといえる。ビリーバーズ板橋は単価が安いが利用人数が多いので、売り上げを稼いでいこうと考えている。

小倉理事から、ビリーバーズ板橋が週5になったときに家賃が高くなるのかという質問があり、蔵本理事から高くなると回答があった。利用人数は、ビリーバーズ広尾もすっかり伸びていることが数字上でも表れている。ビリーバーズ板橋は週3ではあるが、ビリーバーズ広尾よりも利用人数が多く、週5にすることがさらに人数が増加することが期待できる。ビリーバーズのオンラインの活動でも、定期的に人が集まっている。助成金勉強会が第7期までしっかり回っている。ビリーバーズと他2団体と一緒に合同イベントを2か月に1回行っている。こちらも寄付金や参加費の徴収などの収益化を狙っている。

第2号議案 法人の組織図及び経営理念の審議

Webサイト構築や、スタッフマニュアル作成に合わせて、ビリーバーズの組織図と一般社団法人ビリーバーズの経営理念の案を作成し、理事、監事で確認した。

第3号議案 利用者に向けての寄付のお願いについて

ビリーバーズの資金が減ってきている。Webサイト上で寄付のお願いページを作成し、一般からの寄付を募るほか、ビリーバーズの各拠点を保護者にも寄付の依頼をしていく。第2段階として、寄付サイトを使い、月額で寄付をもらえる仕組みも作っていく。

第4号議案 ビリーバーズ板橋賃貸借契約に関する報告

昨年1月から活動をはじめたビリーバーズ板橋だが、昨年前半の段階で大山ではレンタルスペースでの運営となっていた。週5運営に向けて、月額14万円の場所を借り、今年5月より運営を始める。来週31日に契約する。しっかり投資分を回収していくことを目指す。

第5号議案 ビリーバーズ広尾東京都補助金に関する報告

東京都によるフリースクール事業者向けの補助金が10月から始まった。3月末分までの実績報告を行い、ほぼ満額の人件費の3/4が戻ってくることが確定している。このことで、正職員の給与が支払えるようになり、ビリーバーズ広尾の安定稼働にも繋がっている。来年度の補助金はまだアナウンスがないが、これから1事業者につき複数個所の補助金が支給されるようになった際には、ビリーバーズ板橋も申請を行うことを考えている。ビリーバーズ板橋の補助金がもたらえるようになると合算して黒字化できるようになってくるとはいえないかと考えている。

第6号議案 その他、理事、監事が取り扱いたい議題について

高橋理事から「理事の報酬について」無報酬のまま進めるのではなく、助成金をチャレンジし、採択された際には、関わった事業に対して謝金の支払いができるように進められるように環境を作っていくことの提案があり、代表理事の熊野からぜひ取り組んでいきたいとの回答があった。監事の小倉からも事業継続の観点から、関わる人への適正な謝金支払いができる環境整備を考えていくことが健全であるとのコメントがあった。

プロボノで関わってくれている関川久範さんへの依頼事項が定まっていることの改善をしていくことの報告があった。具体的にはアニュアルレポートの作成や助成金申請のペースメイクなどを考えているとのコメントがあった。理事の蔵本からも事務局報酬や各事務局の報酬の見直しについての提案があり、次回の理事会までに検討を行い、6月の理事会の時に報告するとの熊野が回答した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を終了した旨を述べ、午後3時37分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事、出席監事が記名押印する。

令和7年3月24日

一般社団法人ビリーバーズ

議長

熊野 英一

出席理事

蔵本 美紀

出席理事

高橋 真理子

出席監事

小倉 啓吾